

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【公開番号】特開 2019-17506 (P2019-17506A)
 【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-005
 【出願番号】特願 2017-136577 (P2017-136577)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 29 日 (2020.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値の設定を許可するための設定許可状態に
制御可能な設定許可状態制御手段と、
設定された設定値に応じた確率により前記有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、
可変表示に関する情報を、保留記憶として記憶可能な保留記憶手段と、
遊技媒体が進入可能な第 1 状態と、該第 1 状態よりも遊技媒体が進入困難または進入不
能な第 2 状態とに変化可能な可変手段と、
前記可変手段を制御する制御手段と、
を備え、
前記保留記憶手段に保留記憶が記憶されている場合に、前記設定許可状態に制御される
ときに、前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶が消去され、
前記可変手段が前記第 1 状態である場合に、前記設定許可状態に制御されるときに、前
記可変手段が前記第 1 状態から前記第 2 状態とされる、
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、設定値を設定可能であって、保留条件が成立した始動入賞について保留記憶が記憶されるとともに、大当りにおいて開放制御される大入賞口や普通図柄が当りとなることで開放制御される可変入賞口（電チュー）を備えたパチンコ遊技機がある（例えば、特許文献１参照）。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開２０１０－２００９０号公報

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、特許文献１にあっては、保留記憶が記憶されている場合や大入賞口や可変入賞口が開放制御されている場合に設定値が変更されることが考慮されておらず、設定値を的確に反映させることができないという問題がある。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

よって、本発明は、設定値を的確に反映させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

手段１に記載の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機１）であって、

前記有利状態に制御される確率に関する設定値（例えば、設定値１～設定値３のいずれか）の設定を許可するための設定許可状態に制御可能な設定許可状態制御手段（例えば、ＣＰＵ１０３がＳａ１３の設定変更処理を実行する部分）と、

設定された設定値に応じた確率により前記有利状態に制御可能な有利状態制御手段（例えば、ＣＰＵ１０３が図２３に示す特別図柄プロセス処理を実行する部分）と、

可変表示に関する情報を、保留記憶として記憶可能な保留記憶手段（例えば、ＣＰＵ１０３が図２３に示す始動入賞処理を実行する部分）と、

遊技媒体が進入可能な第１状態（例えば、開放状態）と、該第１状態よりも遊技媒体が進入困難または進入不能な第２状態（例えば、閉鎖状態）とに変化可能な可変手段例えば、第１大入賞口や第２大入賞口７１２）と、

前記可変手段を制御する制御手段（例えば、ＣＰＵ１０３がＳ２７の大当り開放中処理を実行する部分）と、

を備え、

前記保留記憶手段に保留記憶が記憶されている場合に、前記設定許可状態に制御される
ときに、前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶が消去され（例えば、変形例 3 に示
すように、新たな設定値が設定されたことに基づいて保留記憶をクリアする部分）、

前記可変手段が前記第 1 状態である場合に、前記設定許可状態に制御されるときに、前
記可変手段が前記第 1 状態から前記第 2 状態とされる（例えば、図 2 1 に示すように、パ
チンコ遊技機 1 に新たな設定値を設定するためにパチンコ遊技機 1 の電源を OFF にする
ことで、第 1 大入賞口や第 2 大入賞口 7 1 2 が閉鎖される部分や、変形例 3 に示すように
、パチンコ遊技機 1 に新たな設定値が設定されたことに基づいて第 1 大入賞口や第 2 大入
賞口 7 1 2 が閉鎖される部分や、変形例 3 に示すように、パチンコ遊技機 1 に新たな設定
値が設定されたことに基づいて第 1 大入賞口や第 2 大入賞口 7 1 2 が閉鎖される部分）、
ことを特徴としている。

この特徴によれば、設定値を的確に反映させることができる。